

ふくおか 県学歯



朝倉市 三連水車

2017. 1 No.90

Contents

○巻 頭 言	杉原 瑛治	1
○第21回福岡県学校歯科保健研究大会		2
実践活動報告①	森山 秀一	3
	吉山 祐子	3
実践活動報告②	杉野菜穂子	3
	平山 裕子	3
	児童委員会	3
基調講演	伊東 初枝	4
特別講演	小笠原 正	4
総 括		5
○平成28年度よい歯の学校表彰について報告		5
○平成28年度全国学校保健・安全研究大会 第66回全国学校歯科医協議会	平瀬 久義	6
○平成28年度九州地区学校歯科医会役員連絡協議会	平瀬 久義	7
○第80回全国学校歯科保健研究大会	三箇 正人	8
○加盟団体長会	古賀 寛一	9
○第15回九州地区健康教育研究大会	柳迫 正俊	10
○歯 鏡	松田 宏一	10
○養護教諭校外研修会について	原野 啓二	11
○平成28年度「歯・口の健康に関する図画・ポスター・標語コンクール」審査結果		13
○平成28年度 歯・口の健康に関する図画・ポスター・標語コンクール受賞作品並びに総評		16
○平成28年度「歯・口の健康に関する図画・ポスター・標語コンクール」審査結果		17
○郡市区だより		
浮 羽	廣田 恭彦	18
大川三潁	田中 勝馬	19
小郡三井	井上 剛臣	20
大 牟 田	高村 聖一	21
遠賀中間	原野 啓二	22
粕 屋	伊山 愼二	23
久 留 米	古賀 浩明	24
田 川	菅 義浩	25
○表 彰、事業報告、会務報告		27
○物故会員、公告、予告、編集後記		29

新しい年の思い

会長 杉原 瑛 治



新しい年を迎えました。世の中が変化し、日本と関係のある国々が大きく変化しようとしています。先生方はどう受け止めておられますでしょうか。又、どんな思いで新年を迎えられたのでしょうか。国政選挙では保守が大勝し、色々と考えさせられる内容がありました。消費税の8パーセント維持は助かりました。私たちの業界では10パーセントになると、増税の割合が他業種より多くなります。そのほか、私たち歯科医師は諸問題に直面しながら、毎日を過ごしています。

更に私たち学校歯科医は学校での公務があります。学校職員の一人として決められた学校保健の職務を行い、将来、国を担っていく子供たちのために、職域団体の中の一人として、団体からの情報に耳を傾けながら行動をしていかななくてはなりません。

歯科界の組織の中にいる歯科医師は、組織の中で、会を通して情報を享受し発信し行動することが当然のことと思いますが、残念なことに、会に入会しないで恩恵だけを被っている歯科医師がいます。それすら分からない、周りが見えない人もいます。学校歯科医においても、その組織を脱退し、学校の職員・児童生徒のいることを忘れて、その方々に迷惑が及ぶことを理解せず行動する人がいます。あまりにも無責任な行動と思われませんか。学校の組織の中にいる先生が、県の教育委員会の情報網から離脱して、学校歯科医としての職務が完遂できるか不安です。

学校歯科医の業務は毎年少しずつしか変化しませんが、現代社会では複雑、多様化し、子供たちのメンタルヘルスのことが大きな課題になっています。社会は、疾病志向から健康志向へ大きく舵を切り、私たちに疾病前の指導、事後措置の在り方、健康保持をいかに進めるかが求められています。そのような中、学校歯科保健の専門職である先生方におかれましては、学校歯科保健管理、保健指導、組織活動の指導者としての知識を学校保健委員会等で発揮していただきたいのです。

会長職に就いた時に3つの約束をしました。①会員の目線に立った会務運営②学校歯科医の地位の向上③会員のわかる学校歯科保健を周知する、この3点を念頭に役員一同は常に前を向いて会務に携わっています。又、会員の先生、委員の先生方のご協力を得ながら会務を進めています。私たちは、学校歯科医会会員の社会的立場の向上、そして学校歯科医会を広く社会に認識していただくために、私達の活動を通して広報し、更に、福岡県教育委員会を介し、他団体や私立学校組織との交流等も行ってきました。小・中学校・県立高校の統計調査も県下で幅広く行えるようになりました。

皆様方の会費で運営している本会です。先日加盟団体長会を開催して、会の方針と諸問題についてご意見を戴き、今後ともご協力いただけると確信いたしました。感謝申し上げます。今期を終えるにあたり、運営を効果的に行うためにはどうしたらよいかを念頭に、来期に向け、来年度の事業計画を立てています。先生方のご協力を心よりお願い申し上げます。

最後に、皆様の益々のご活躍とご健勝を祈念し、新年の挨拶と致します。



大会会長あいさつ 会長 杉原 瑛 治

第21回学校歯科保健研究大会を開催するにあたりご挨拶いたします。平素より福岡県学校歯科医会にご協力をいただいております関係者の皆様には心より御礼申し上げます。また本日ご出席をいただきました会員の皆様をはじめ日本学校歯科医会丸山会長、福岡県教育委員会の皆様並びに福岡県歯科医師会会長はじめご来賓の皆様には衷心より感謝申し上げます。

さて本日受賞される皆様おめでとうございます。学校歯科保健の日ごろからの活動が評価されてのご受賞と図画ポスター・標語の入賞者の皆さんです。心よりお祝いを申し上げます。今後ますます学校歯科保健活動に心をよせていただきご推進いただきたいとお願い申し上げます。

研究大会も昨年20回迎え、新たな気持ちで子供たちへの学校歯科保健活動に邁進していこうと役員、会員一同、同じ目線で考えています。歯科保健活動をとおして生きる力をはぐくみながら、生き抜く力を育てていただきたいと思っております。

福岡県学校歯科医会に関係する皆様のお力で5月「西日本子ども歯科保健健康会議」を立ち上げ発会式ができました。この会議は学校での保健問題を学校教職員、保護者、学校歯科医、歯科衛生士、歯科大学関係者、行政をはじめ関係者が一堂に会し、決めたテーマを一緒に考察・会議したいと思ひ発足しました。これは地域的には福岡県学校保健委員会と位置付けてい

ます。今日の研究大会のように仲間を増やす、理解を頂く意味においては大変意義のあることと思っています。多くの問題点を共有して一緒に解決しましょう。今日の研究大会と会議とは別の目的を持っています。ともに連携していきます。

学校歯科保健関係者は日本を担う子供たちの歯・口の健康づくりを通して基本的な生活習慣の確立、自律的な健康づくりのために一層の努力をしながら、子供たちの健康を見守ります。子供たちが生涯にわたって、自律的に自らの健康づくりを積極的に取り組んでいく事が出来るように、学校、家庭、地域そして行政、また本日の参加者がそれぞれ、連携しましょう。また歯・口の健康づくり・学校における健康教育の在り方が、国民の一生の健康づくりに貢献できるように基礎を培うことが大事なようです。本日の研究がご参加の皆様にとってそのように実り多い大会となることを期待しております。

特別支援学校にいる子供たちは国民として以前と違って平等に教育をうけています。周りの方々は特に努力をされ明るく育っています。少しでも明日の教育の参考にとの思いで企画しました。

最後になりましたがご協賛に厚く御礼申し上げます。併せてご参加の皆様のご健勝とご発展を祈念し、ご挨拶いたします。



〈丸山日学歯会長〉



〈杉原会長〉

テーマ「歯・口の健康づくりの総合的展開を目指して」 ～生涯を通じて自らの健康保持増進を目指す健康教育～

実践活動報告①

「自ら健口行動ができる子どもの育成」
～健康行動理論に基づく授業づくり、活動づくりを通して～

柳川市立垂見小学校 主幹教諭 森山 秀一
柳川市立垂見小学校 養護教諭 吉山 祐子



本校は、平成27年度より福岡県学校歯科医会の委嘱を受け、健康行動理論に基づく取組を通して「自ら健口行動ができる子どもの育成」の研究を図ってきた。森山主幹教諭より、歯や口に関する自分の健康状態を知り、歯や口に良い行動を実践できる、健口行動が出来るようになった児童の紹介があり、その取り組みについて説明があった。本校は、人が健康に良い行動を起こそうとやる気になる為の要因、つまり行動変容を引き出すポイントを①まずい（危機感）②よい（自分にとって良い事）③妨げ（阻害要因）④自信（成功経験）⑤努力⑥サポートの6つとし、それに基づいて授業づくりや活動づくりを行っている。授業づくりの例として「前歯や奥歯のみがき方を覚えよう」と言う題材で実践の説明があった。

続いて吉山養護教諭より健康行動理論に基づく活動として、全児童の認知形成に向けた活動（児童集会での発表・歯っぴーフェア・全国学童歯磨き大会・位相差顕微鏡贈呈式）学級での行動達成に向けた活動（歯っぴータイム・歯っぴー週間での歯みがき・ほげんだよりや掲示物での啓発）家庭、地域との連携を図る活動（学級PTA活動・家庭での歯垢調べとはみがきカレンダーの取り組み・PTA教育懇談会での啓発と学校保健委員会の充実・公民館事業との共催による「まちの駅」での啓発）について説明があった。最後に森山主幹教諭が研究の成果と課題について述べられ、映像による2年間の取り組みが紹介された。

実践活動報告②

「規則正しい生活習慣や病気を予防する習慣を身に付け、自ら健康管理ができる子どもの育成」
～本校学校保健安全委員会と児童委員会活動の取り組み～

那珂川町立片縄小学校 保健主事 杉野菜穂子
那珂川町立片縄小学校 養護教諭 平山 裕子
児童委員会
阿比留優歩・内田 莉央
浦上 丈弥・小山莉亜奈
永田 流星・野瀬 優月
他



成長過程にある子供にとって、規則正しい生活習慣を身に付けることは、とても重要なことである。

本校では那珂川町や課題別コミュニティ、学校保健安全委員会や家庭との連携を図りながら、生活習慣の確立を目指して取り組んでいる。また、児童会活動との関連を図り、委員会活動から全校児童に発信し学級や全校で取り組むことで、規則正しい生活習慣や傷病の予防方法を身に付けようとする態度が育ってきている。

学校保健安全委員会は年3回開催され、学校と家庭・地域での取り組みについて話し合われる。そこで、児童保健委員会からの報告も行われる。

児童保健委員会では

K（かたなわっこ）

P（パーフェクト・優しく）

G（元気・みんなの笑顔）

のスローガンのもと活動を行っている。4月…委員会目標、年間計画決定。6月…歯のクイズラリー大会、歯科衛生士さんの出前講座。7月…低学年への歯みがき教室、歯みがき教室後の支援、夏休み健康カレンダー作成。8月～9月…熱中症予防呼びかけ。11月…かぜ・インフルエンザ予防の取り組み。これらの活動を通して児童が自ら健康管理ができるようになってきている。

基調講演

「併設病院とともにすすめる口腔ケア」

長野県諏訪市立四賀小学校

養護教諭 伊東 初枝



本校は、医療型障がい児入所施設『信濃医療福祉センター』と同一の建物に併設された全国でも珍しい肢体不自由児学校である。

子供たちは、歯ブラシを細かく動かすことは難しく、口を大きく開けていることや体を起こしていることが大変な子もいるため、毎食後の介助者の仕上げみがきは不可欠である。経管栄養で口から食べていない子の口腔ケアも含め、病院と学校で情報交換しながら取り組んでいる。学校では歯みがきだけから口の体操・水分補給にも力を入れ始めた。同時に、『医療福祉センター』と『松本歯科大学』が話し合い、家庭の協力のもと、3～6か月ごとの定期予防検診（口腔内診査、清掃、歯垢・歯石除去、フッ化物塗布）が実現した。これらから口腔ケアをしっかりやることで体調がよくなること、口腔の機能維持・向上にもつながるようになってきた。このような活動を続けていき、健康長寿を願い、地域へもつないでいきたいと熱い思いを述べられました。

特別講演

「学校歯科健診に必要な知識と対応」

松本歯科大学障害者歯科学講座

教授 小笠原 正



講師の小笠原先生は長年にわたり、障害者歯科を研究されたエキスパートで、実際のスライドでは「特別支援学校における学校歯科健診に必要な知識と対応」という題目で特別講演が行われました。講演は①知的障害②ダウン症候群③自閉スペクトラム症④重症心身障害者（脳性麻痺）、経管栄養について障害の概要と口腔内診査時にできることとやってはいけないこと、歯科衛生士による保健指導のポイント、健康管理の進め方と連携、関わりなど養護教諭や歯科関係者が理解して欲しいことについて説明されました。知的障害者がミラーを拒否したら、歯ブラシを使えば口を開けてくれやすく、自分で靴を履けたり、顔を洗えたり、ボタンをはめたり出来れば、口腔内診査も可能なことが多いようです。ダウン症候群では50%以上に心疾患があるため、ポケット測定などでも感染性心内膜炎のリスクがあります。自閉スペクトラム症では映画「レインマン」のシーンを効果的に使いながら、会話の出来ない重度の自閉症の中学2年生が書いたある手記を紹介していました。東田直樹著による「自閉症の僕が飛び跳ねる理由」というこの本は、世界20か国以上で翻訳され、ノルウェーでは日本人作家としては三島由紀夫、村上春樹に並び有名だそうです。著書では「自分の言動をコントロール出来ない」、「子供が望んでるのは親の笑顔」など内なる心情が綴られ、当事者の気持ちを理解するのにとても役に立つとのことでした。脳性麻痺などの口を開けたままに出来ない障害者へのバイトブロックとしては、強度の面から母校の松本歯科大学病院で開発・販売されているEZブロックを推奨しておりました。事前に配布されたレジユメとは、スライドの語句やレイアウトにも相違がみられるなど、こだわりの姿勢が感じられ、時折、動画をはさみながら、クールさの中に障害者歯科に対する秘めたる情熱が感じられました。

総括

平成28年11月5日（土）福岡県歯科医師会館5階大ホールにて、第21回福岡県学校歯科保健研究大会が開催された。日本学校歯科医会、福岡県教育委員会をはじめ多数の来賓を迎え、学校歯科医、養護教諭、学校栄養士、歯科衛生士、学校教育関係者など、342名の参加者で充実した1日となった。団体表彰として、久留米学校歯科医会、よい歯の学校表彰として県内より4校が表彰された。

また、歯・口の健康に関する図画・ポスターコンクールならびに健康啓発標語コンクールの優秀作品に対し、福岡県学校歯科医会会長賞ならびに福岡県教育委

員会賞として、児童・生徒9名の表彰式が行われた。

表彰式の後、「歯・口の健康づくりの総合的展開を目指して」～生涯を通じて自らの健康保持増進を目指す健康教育～の主題の基、実践活動報告、基調講演が行われた。

最後に、松本歯科大学障害者歯科学講座教授 小笠原正先生より、「学校歯科健診で必要な知識と対応」と題して、特別講演が行われた。障害者の健診、指導などに対するご講演をいただき、いずれの講演も、学校歯科保健活動に役立つものばかりで、学校歯科保健関係者にとって、大変有意義な大会となった。



図画・ポスター・標語コンクール受賞者



展示コーナー



◇参加者の声（アンケートからの抜粋）

☆学校教育関係☆

・小笠原先生の講演はとても為になりました。通常学級も障害を持っている可能性のある児童が増えています。ちょっとした配慮でこんなにも変わるのかと理解する事ができました。こうした話はなかなか聞く事ができません。ありがとうございました。

☆養護教諭☆

・特別支援学校の養護教諭です。とても分かりやすく、こんな理解者がいる事がとても嬉しいと思った特別講演でした。福岡県でも医療と学校が連携し、全ての児童生徒に有効な学校健診が実施できるようになれるといいなと思います。

平成28年度よい歯の学校表彰について報告

「よい歯の学校表彰」選出につきましては、以下の2つの事項を念頭に決定しました。

- ①前年度の「歯・口の健康診断結果統計調査」に基づき、DMFT 0.5以下で未処置歯のある者の率が低く、処置完了者率が高い学校。
- ②学校規模（小規模校、中規模校、大規模校）を考慮。

選出につきましては、数値的に非常に近接した学校が多数あり難航いたしました。2つの事項を考慮して慎重に選出いたしました。



第3回よい歯の学校表彰 表彰校

飯塚市立目尾小学校、春日市立春日南中学校
朝倉市立大福小学校、私立大牟田中学校

平成28年度 全国学校保健・安全研究大会 第66回全国学校歯科医協議会

専務理事 平 瀬 久 義

平成28年10月27日（木）・28日（金）第66回全国学校保健研究大会が、札幌市の札幌コンベンションセンターで「生涯を通じて、心豊かにたくましく生きる力を育む健康教育の推進」～生涯にわたり、自ら心身の健康を育み、安全を確保できる子供の育成～というテーマで開催された。本会からは、杉原会長と平瀬が参加した。

本大会は、文部科学省、北海道教育委員会、札幌市教育委員会、公益財団法人日本学校保健会、公益財団法人北海道学校保健会主催のもと行政、学校現場、医師、歯科医師、薬剤師など学校保健に携わる方々が一堂に会し研究協議するものである。

27日は、開会式において文部科学大臣表彰伝達式が行われ、福岡県からは大牟田歯科医師会永江正廣先生、宗像歯科医師会須ノ内茂子先生が、永年の学校歯科保健への取り組みが認められ受賞されました。

翌28日は、10の課題に分けて研究協議会が開催され、関係者は個々に関心のある課題に参加し研鑽に務めた。今回は第5課題「歯・口の健康づくり」に参加し“生涯にわたる健康管理の基盤となる歯・口の健康づくりの進め方”について、下記の標題で3名の養護教諭の研究発表

があった。発表では、小・中・特別支援学校の種別、地域性などそれぞれの特性にあった学校歯科保健活動の進め方について報告があり、質疑応答を通して理解を深めた。

(1) 秋田市立明德小学校

養護教諭 米川 尚子

歯科健康診断の効果的な実施と結果等を活用した健康教育の充実について

(2) 沖縄県立宮古特別支援学校

教諭 金城 香澄

本校における歯科保健の取組について

(3) 北海道羅臼町立春松中学校

養護教諭 高田 真弓

地域とともに生涯にわたる「歯・口の健康づくり」

また、27日（木）午後4時より京王プラザホテル札幌で第66回全国学校歯科医協議会が開催され、開会式、大臣表彰者紹介に引き続き、特別講演が行われ「学校歯科保健の魅力－これからの学校歯科医－」という演題で日本学校歯科医会会長丸山進一郎先生、「最近増加している小児口腔の問題点と小児歯科臨床」という演題で北海道医療大学歯学部小児歯科学分野教授齊藤正人先生の講演が行われた。



平成28年度

九州地区学校歯科医会役員連絡協議会

専務理事 平瀬久義

平成28年8月20日午後2時より、熊本県歯科医師会館4階ホールにおいて九州地区学校歯科医会役員連絡協議会が熊本県の主催で開催された。

本協議会には、日本学校歯科医会から丸山会長、藤居専務理事を迎え、九州地区学校歯科保健担当役員代表、開催県熊本県歯科医師会担当役員、委員が出席した。本会からは杉原会長、平瀬が出席した。日本学校歯科医会丸山会長、熊本県歯科医師会浦田会長の挨拶、出席者紹介、座長副座長選出後、藤居専務理事より日本学校歯科医会事業報告がなされ、熊本地震への対応、生涯研修制度、広報、委員会活動など詳細な説明がなされた。

引き続き協議として（1）平成28年度九州各地区学校歯科関係事業計画について報告・質疑応答がなされた。（2）各県学校歯科保健関係提出協議題については、各地区から提出された協議題について事前回答をお願いしており、そ

の回答に対して協議題提出地区からの質疑応答というかたちで意見交換がなされた。内容は健診時の感染症対策、大規模災害時の学校歯科医の対応、基礎研修・専門研修、保健調査票の対応、外傷歯の取扱、学校歯科健康診断など多岐にわたった。（3）日本学校歯科医会への質問及び要望事項について、各地区より健康診断結果統計調査、生涯研修制度、サホライド、災害時の学校保健対策について発言があり、それに対して回答をいただいた。

協議の後、熊本市立城東小学校養護教諭桑田奈津子先生による「みんなで進める学校での健康づくり ～歯・口の健康づくりを中心に～」標題で講演が行われた。

本協議会で、多様な意見の交換を通じ学校歯科保健活動のいろいろな課題について理解を深め、次期開催県の挨拶、閉会の辞で3時間の協議会を終了した。



第80回全国学校歯科保健研究大会

副会長 三 箇 正 人



第80回全国学校歯科保健研究大会が、平成28年11月16日（水）、17日（木）の2日間、東京都文京シビックホールにおいて開催され、本会からは杉原会長、須之内副会長、平瀬専務、三箇が参加した。東京は、4年後の東京オリンピック・パラリンピック開催を前にしており、文京区役所・シビックホールの壁にはエンブレムが掲げられ、2020年へ向けて、雰囲気盛り上げていた。

今年の大会は、「『生き抜く力』をはぐくむ歯・口の健康づくりの展開を目指して」を主題、「明るい笑顔で未来をつくる学校歯科保健活動」を副題として開催。WHOによる健康の定義で、「健康」とは、単に病気ではない、弱っていない

という状態を表しているのではなく、肉体も、心も、意志も、そして社会的にも満たされた状態を意味していることを踏まえ、「生きる力」から一歩踏み込んだ「生き抜く力」を掲げての大会となった。そして、その意味を考察し、急激に様変わりする社会環境の中で未来に向かう子供たちが、喜びをもって健康な「笑顔」を持ち続けられる学校歯科保健活動を目指し、全国から多くの学校歯科保健関係者参加の下、幼児期、学齢期における歯科保健に関するシンポジウムや講演、研究発表等が行われた。

大会1日目は、大会記念イベント、開会式、表彰式が行われ、主催者挨拶、来賓祝辞に続き、全



日本学校歯科保健優良校表彰（本県からは筑紫野市立吉木小学校が奨励賞を受賞）、又、第80回全国学校歯科保健研究大会記念文部科学大臣表彰が行われ、福岡県からは、県学校歯科医会より推薦された井手口蓋（京都）、前田恒己（豊前築上）、宮城二郎（田川）、佐藤魁慈（筑紫）、高木武夫（久留米）、原田一男（大川三潁）、児玉勝克（門司）、守田邦昭（遠賀中間）の8名先生方が受賞された。

その後、記念講演に移り、ジャーナリストの池上彰氏が、「国際社会で生き抜く力」とのテーマで講演。引き続きシンポジウムに移った。

シンポジウムは、「学校歯科保健活動の過去・現在・未来」～学校歯科保健を取り巻く課題解決へのストラテジー～とのテーマで、東京医科歯科大学名誉教授黒田敬之先生を座長として行われ、明海大学学長安井利一先生の基調講演の後、シン

ポジストとして、学校現場の立場から、元福岡県春日市立須玖小学校養護教諭田中さえ子先生、学校歯科医の立場から、一般社団法人日本学校歯科医会常務理事竹内純子先生が登壇された。

大会2日目は、領域別研究協議会が開催され、「保育所（園）・幼稚園部会」「小学校部会」「中学校部会」「高等学校部会」「特別支援教育部会」の各部会に別れての協議会が行われた。各協議会終了後、領域別研究会報告が一堂に会して行われ、大会宣言が採択され閉会式となった。来年度の次期開催は青森県で行われる旨報告があり、全日程が終了した。

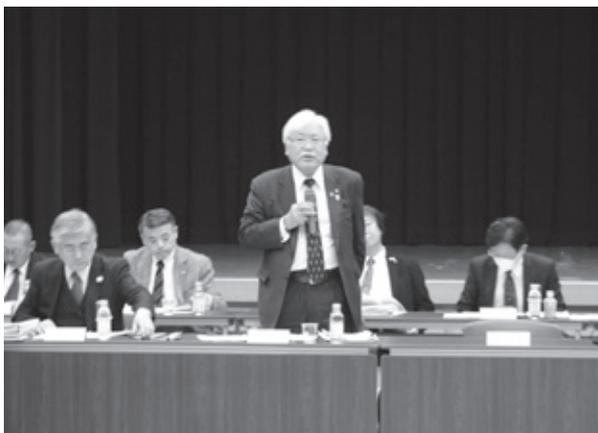
尚、開会中は、同じ建物のアカデミー文京にて、ポスター発表の場があり、全国から提出された44に及ぶ発表が展示され、各発表の場で内容についての質疑応答が活発になされていた。

加盟団体長会

広報委員会 担当理事 古賀寛一

平成28年11月26日（土）午後5時より、福岡県歯科医師会館5階大ホールに於いて、県下の加盟団体長が出席のもと、加盟団体長会が開催された。杉原会長の挨拶に引き続き、県学歯の事業、よい歯の学校表彰への取り組み、フッ化

物応用に関する学校歯科医としての取り組み、校医手当の背景、又、福岡県「歯・口の健康づくり推進指定校事業」等について協議がなされ、各加盟団体と県学歯との今後の協力関係を確認しあう場となった。



第15回九州地区健康教育研究大会

常務理事 柳 迫 正 俊

平成28年8月8日・9日、福岡サンパレスにおいて九州各県から健康教育に携わる多くの関係者の出席のもと、第15回九州地区健康教育研究大会が開催された。

8日の全体会では、大会副会長である杉原瑛治県学歯会長の開会のことばで始まり、開会式に続いて「生涯にわたって、心豊かにたくましく生きる力をはぐくむ健康教育の推進」をテーマにシンポジウムが行われた。大野城市まどかびあ館長の林田スマさんをコーディネーターに5人のシンポジストが、学校における家庭・地域社会及び関係機関との連携の在り方について発表された。県学歯副会長の須ノ内茂子先生もシンポジストとして「歯科定期健康診断から発信できること」生き抜く力と生活習慣改善に向けての連携について発表された。

その後、侍ジャパン監督 小久保裕紀氏より「一瞬に生きる」と題して特別講演があり、我々は目標を持って生きることが大切であり、それを成し遂げるための努力をしなければならない。例えば二軍のプロ野球選手に目標を聞くと「できれば一軍でプレーをしたい」という選手ではダメで、「絶対に一軍でプレーする」という目標を持って

練習に励む選手はやはり一軍に上がっていく。という話に納得し、機会があったら学校に行った時に子供たちにもこの話をしてみたいと思った。

翌9日は分科会が行われ、我々は福岡県歯科医師会館で行われた第6分科会に出席した。自らの歯や口の健康に関心を持ち、自分の課題を把握し、解決していくことができる資質や能力を育成するための学校歯科保健活動の進め方についての協議会で、小学校、中学校、特別支援学校より3名の先生方から発表があった。

有意義な2日間となった研究大会でしたが、大会副会長の杉原先生、シンポジストとしてご苦労された須ノ内先生、お疲れ様でございました。



歯鏡

私が学校歯科医になった30年ほど前、「学校歯科医は、個を診るのではない全体を診なさい」と教わりました。しかし、個を診なければ全体は見えません。現時点における私の最大の課題の一つは、処置歯と健全歯の鑑別です。

いずれ導入される健診入力ソフトを使えば、未処置歯に健全歯とは入力出来なくなるはずですが。いやいや10年以上も経ったら、マイナンバーが身体データ管理に導入されるでしょうから、一人一人の出生前の胎児期からの身体データや、生後の治療履歴は個人データとして記録されてゆくでしょう。そうしたら学校歯科健診時の検出ミスも制限されます。学校歯科健診で行う事は、データとの相違を確認する事と、歯科保健の個人指導になるのでしょうか。

しかしその頃、私はとっくに学校歯科医を退任しているでしょう。

2025年対策で、多職種連携が叫ばれ、医療界は中学校区の播鉢の中の渦中にあります。其々に進化した多職種のスペシャリスト達と、地域における幾つもの案件を検討するケア会議では、得るもの多く、自分の仕事にも役立ちます。ふと思うに、学校というフィールドではその昔から学校保健と言う名の元に多職種のスペシャリスト達が集まっていたのですね。

全てにおいて、分化して進化し、統合して成就します。

多職種の方々つまり専門分野の方々とは知識や現状分析を共有して、学校保健を推進しましょう。

制度調査委員会 担当理事 松田 宏一

養護教諭校外研修会報告

(対象は新規採用者、教職経験5年を経過した養護教諭)

常務理事 原野 啓二

福岡県教育委員会では、毎年学校の先生方に対し研修会を開催しています。養護教諭に対してもその一環として新規採用者には、「学校における健康教育を推進するための養護教諭の職務と責任の認識を深め、専門的知識・技能の向上に資する」また、教職経験5年経過養護教諭には、「保健活動を学校教育活動の一環として広い視野からとらえ、専門職としての資質の向上を図る」を目的に県立スポーツ科学情報センター（アクション福岡）で開催されています。年間を通じ新規採用者は全7日間、5年経験者は全5日間の日程で行われています。今年の研修内容は、新規採用者には児童虐待における養護教諭の役割、関係機関との連携、感染症対策等、また5年経験者には性に関する指導の現状と課題、豊かな心をはぐくむ性に関する指導、保健教育の考え方・進め方などで

す。学校歯科保健関係の講習については、毎年本会へ講師派遣依頼がきており、教職経験5年経過者の研修は10月28日（金）に原野が、新規採用養護教諭の研修は、11月24日（木）に平瀬久義専務が出席いたしました。

新規採用養護研修は、「学校歯科保健活動の実際」という標題で、福岡県歯科衛生士会の松永理事と合わせて120分の講習をおこなっています。この研修は本年度新しく採用された先生方が受講され、学校歯科保健の基本的な知識の再確認が講義の中心となっています。また松永理事からは、

学校現場（教室）で児童生徒に歯科保健指導が行えるよう、主に歯みがき指導、おやつのとり方など手作りのグッズを使った指導法を実演していただいています。グッズを初めて経験する方も多く、作り方や使用法に高い関心が集まりました。

5年経験者の研修は、「学校歯科保健の現状への理解と対応」という標題で60分の講習をおこないました。今回は“学校歯科保健活動の重要性や保健活動推進の成果”“学校歯科健康診断の生かし方”“学校保健委員会の活性化”などについて講義し、最後に“歯・口の外傷時の対応”を実際の写真を提示してお話ししました。受講した方の感想に「健康診断の集計結果を基に、学校保健委員会で改善を図る取組を早速議題に取り上げたい」「初めて、歯の外傷の写真を見ることができ、対応などいざという時のイメージができた」とあり、研修の意義を感じることができました。

この養護教諭校外研修会を通していつも感心させられるのは、先生方の受講への姿勢です。講義最初の挨拶から始まり、最後までメモを取りながら真剣に聞いてくれます。講義をしている者にその気持ちが伝わります。今年の新規採用者は31名で、どんどん世代交代が進んでいます。このような先生方に学校現場で活躍していただければ、これからの学校保健教育はさらに活性化していきましょう。私たち学校歯科医もその職務の認識と自覚が求められています。



平瀬専務理事



原野常務理事

守りたい 大切な子どもたち



学校での事故は、
年間**110**万件発生しています！

知って、防ごう、学校事故



事故事例や学校安全啓発資料はコチラ！

学校安全Web

検索



平成28年度
 歯・口の健康に関する図画・ポスター・標語コンクール受賞者



小学校低学年 粕屋 宇美小学校3年
 日高 百花



幼稚園 門司 さいわい幼稚園
 柴村 東吾



小学校高学年 大牟田 桜舞館小学校4年
 江崎 空



特別支援学校 豊前築上 築城特別支援学校小学部3年
 ひとみ



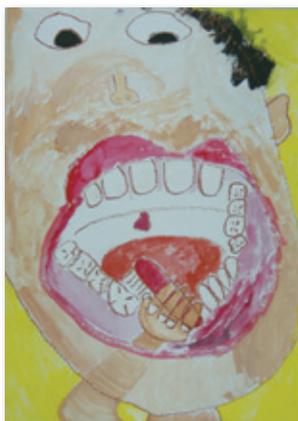
中学生 八女筑後 輝翔館中等教育学校3年
 齋藤 久翠

教育委員会賞



中学生

宗 像 玄海中学校1年
大森 萌々香



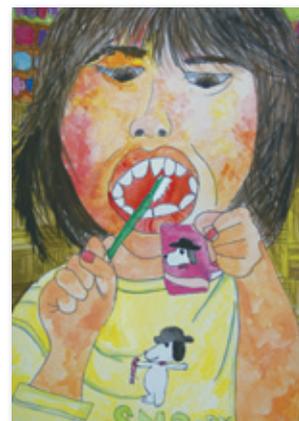
小学校低学年

浮 羽 御幸小学校3年
田村 勇人



特別支援学校

久留米 久留米特別支援学校高等部2年
山崎 穂ノ佳



小学校高学年

田 川 勾金小学校4年
東 柚葉

優秀賞



小学校低学年

門 司 柄杓田小学校2年
野村 虎ノ介



小学校高学年

大川三瀨 川口小学校5年
塩塚 愛実華



中学生

大牟田 歴木中学校3年
甲斐田 菜月

優良賞



田川 中元寺小学校1年
富永 彩斗



久留米 合川小学校6年
戸田 奈那



門司 緑丘中学校3年
井上 沙央理

佳作



大川三瀨 川口小学校1年
龍 歩睦



飯塚 鎮西中学校3年
末崎 鈴乃



久留米 荒木小学校3年
廣重 なつみ



小郡三井 味坂小学校6年
福岡 望生



京都 白川小学校6年
今津 明日花



小郡三井 本郷小学校3年
辻 のどか



朝倉 南陵中学校3年
鹿毛 姫華



柳川山門 南小学校4年
森田 留菜



筑紫 春日野中学校3年
城戸 舞桜

標語

優良賞

笑顔も
未来も
きれいな歯から

田川 真木小学校6年 沖嶋 愛奈

優秀賞

光る歯に
うつる僕らの
明るい未来

筑紫 春日東中学校3年 吉真 諒悟

教育委員会賞

歯磨きは
未来の自分へ
プレゼント

門司 門司中学校1年 椿 真緒

会長賞

はみがきは
元気な体の
だいいっぱ

豊前築上 宇島小学校2年
安仲 葵

平成28年度 歯・口の健康に関する図画・ポスター審査 総評

審査員 公益社団法人 福岡県美術協会 副理事長 久保 紀子先生

【選后感】

○総評

テーマが「歯と口の健康」だけに、全体として明るい色彩で画面いっぱい「歯磨き」をしている作品が多く、各学年ごとの表現の違いに驚かされます。今年は、特に人物の描き方に力が入っており、血色の良い肌の表現や、髪の毛といった細部にこだわった作品が多かったように思いました。

○幼稚園の部

出品された作品の多くが、大きな口を開けて歯磨きする様子の中、少し控えめに口を開き、きよとした目の表情が愛らしい作品が印象的でした。

残念なのは、幼稚園という初めての集団生活の中で、生活習慣のベースとなる「歯磨きする姿」を描くことで、知らず知らずに学べるチャンスを逃しているのではと思った次第です。回を重ねる度に、この世代の多くの作品に出会えるのを心待ちにしております。

○低学年の部

画面いっぱいに「歯磨きをする様子」がいちばん多くみられました。その作品の中で“どこに個性が光るか？”といった視点で観ました。目にとまったのは、お父さんと仲良く歯磨きするなごやかな笑顔！また、背景の色とりどりのシャボン玉のような水玉が、楽しさを一層引き立てています。

○高学年の部

低学年に比べ、人物を取り巻く環境、家族や治療の様子といった構図が多く見られます。また、自分の歯を80歳まで20本という「8020」というような文字が多く描かれています。その中でも「三姉妹」をモチーフにした作品は、歯磨きしながら鏡の前で賑やかにしゃべりする声がかえって来そうで目を引きました。

人物の肌の色や歯の1本1本、髪の毛の細部に至るまで、よく観察し丁寧に描かれています。

○中学生の部

中学生の作品には、構想力と着色に変化が見えます。この世代は、描写力が伸びて、写実的になるか、イラスト風になるのか、いずれかに分かれる頃です。今回の作品群も、この2つに分かれています。中でもこの作品には、生活習慣としての様子を、丁寧に描写した堅実な制作姿勢が伺えます。ややもすると面白みに欠ける側面もありますが、指で弾くと音がしそうな透明感のあるグラス、いま落ちたばかりの水滴といった描写に好感が持て、ポスターとして着地できました。

○養護学校の部

歯と歯ブラシは色紙を貼り合わせ、につくきむし菌と戦う様子がとてもチャーミングに描かれています。女の子の涙が印象的で、色紙の他にクレヨンや水彩など、多様な画材を用い、楽しく描かれています。

【作品審査を終えて】

「歯と口の健康」をテーマとしたポスター募集だけに、全体的にどの作品も「歯磨きをしている様子」のものが多いだけに、いまひとつアイデアと想像力から生まれた作品が欲しいですね。例えば、テーマである「歯と口の健康」を考えた時「歯」や「口」を描く事に軸足を置くだけでなく、「歯と口の健康」と言われたら、作品を通じて「何を伝えたいか・・・??」がとて大切になって来ます。アイデアは、せめて10個くらいは出してみよう！！そのアイデアを家族や学校のお友達に聞いてみよう！！そしてそのアイデアに、誰か一人でも“クスリ”と笑ってくれたらいいのです。

今回は、他の人には真似出来ないアイデア、迫りに満ちた描き方といったそれぞれの年代に応じた個性がキラリと光る作品を期待しています。最後に、作品を通じて日々の生活の中でご指導されている関係者の皆様のご尽力が伝わりました。ありがとうございました。

平成28年度「歯・口の健康に関する図画・ポスター・標語コンクール」審査結果

図画・ポスターコンクール 幼稚園

会長賞	門 司	さいわい幼稚園	柴 村 東 吾
入賞	飯 塚	碓井ひかり幼稚園	くわはら ほのか
入賞	朝 倉	甘木双葉幼稚園	窪 田 琉 己

図画・ポスターコンクール 小学校低学年

会長賞	粕 屋	宇美小学校	3年	日 高 百 花
教育委員会賞	浮 羽	御幸小学校	3年	田 村 勇 人
優秀賞	門 司	柄杓田小学校	2年	野 村 虎ノ介
優良賞	田 川	中元寺小学校	1年	富 永 彩 斗
佳作	小郡三井	本郷小学校	3年	辻 のどか
佳作	久留米	荒木小学校	3年	廣 重 なつみ
佳作	大川三瀧	川口小学校	1年	龍 歩 睦
入賞	京 都	行橋小学校	2年	森 崎 日南乃
	豊前築上	八屋小学校	2年	吉 松 志 菜
	直 方	直方西小学校	1年	ふじわら め い
	飯 塚	潤野小学校	1年	中 村 友 紀
	宗 像	上西郷小学校	1年	竹 浦 結 都
	筑 紫	春日小学校	2年	中 田 ゆ あ
	八女筑後	古島小学校	1年	なかとみ りおん
	柳川山門	豊原小学校	2年	石 川 ひなの
	大牟田	銀水小学校	3年	志 水 日花里
	小 倉	清水小学校	1年	阿 部 麻 奈
	小 倉	清水小学校	3年	小笠原 七 海
	若 松	古前小学校	3年	瀧 井 美 紗

図画・ポスターコンクール 小学校高学年

会長賞	大牟田	桜舞館小学校	4年	江 崎 空
教育委員会賞	田 川	勾金小学校	4年	東 柚 葉
優秀賞	大川三瀧	川口小学校	5年	塩 塚 愛実華
優良賞	久留米	合川小学校	6年	戸 田 奈 那
佳作	京 都	白川小学校	6年	今 津 明日花
佳作	小郡三井	味坂小学校	6年	福 岡 望 生
佳作	柳川山門	南小学校	4年	森 田 留 菜
入賞	豊前築上	下城井小学校	6年	松 本 滂 斗
	直 方	直方北小学校	5年	原 夕 菜
	飯 塚	飯塚東小学校	6年	勝 永 聡 太
	宗 像	自由ヶ丘小学校	6年	黒 島 愛 子
	粕 屋	古賀西小学校	6年	若 狭 千 夏
	筑 紫	日の出小学校	6年	平 田 絢 菜
	朝 倉	東小田小学校	6年	倉 掛 一 真
	浮 羽	吉井小学校	6年	石 井 創 大
	門 司	伊川小学校	6年	長 岡 凛 恩
	小 倉	北小倉小学校	5年	横 山 菜々実
	戸 畑	中原小学校	5年	石 井 楓 鈴
	若 松	江川小学校	6年	能登原 綾 音
	八 幡	中尾小学校	6年	富 元 喜

図画・ポスターコンクール 中学生

会長賞	八女筑後	輝翔館中等教育学校	3年	齋 藤 久 翠
教育委員会賞	宗 像	玄海中学校	1年	大 森 萌々香

優秀賞	大牟田	歴木中学校	3年	甲斐田 菜 月
優良賞	門 司	緑丘中学校	3年	井 上 沙央理
佳作	飯 塚	鎮西中学校	3年	末 崎 鈴 乃
佳作	筑 紫	春日野中学校	3年	城 戸 舞 桜
佳作	朝 倉	南陵中学校	3年	鹿 毛 姫 華
入賞	京 都	仲津中学校	3年	岩 切 悠 乃
	豊前築上	上毛中学校	3年	杉 山 恵梨佳
	田 川	赤池中学校	3年	岩 永 愛 海
	直 方	直方第三中学校	3年	日 高 菜々子
	粕 屋	古賀中学校	3年	内 野 彩 音
	糸 島	二文中学校	2年	古 賀 桃 奈
	久留米	荒木中学校	3年	川 口 美 月
	小 倉	板櫃中学校	2年	面 村 風 香
	八 幡	中央中学校	2年	東 朱 凜
	遠賀中間	遠賀中学校	2年	在 津 妃奈乃

図画・ポスターコンクール 特別支援学校

会長賞	豊前築上	築城特別支援学校小学部	3年	ひとみ
教育委員会賞	久留米	久留米特別支援学校高等部	2年	山 崎 穂ノ佳

標 語

会長賞	豊前築上	宇島小学校	2年	安 仲 葵
教育委員会賞	門 司	門司中学校	1年	椿 真 緒
優秀賞	筑 紫	春日東中学校	3年	吉 真 諒 悟
優良賞	田 川	真木小学校	6年	沖 嶋 愛 奈
入賞	京 都	白川小学校	6年	加 治 遥 香
	直 方	感田小学校	4年	岩 村 希 優
	飯 塚	牛隈小学校	2年	川 原 梨 花
	宗 像	東郷小学校	6年	石 田 悠 悟
	朝 倉	東峰中学校	2年	太 田 康 介
	八女筑後	長峰小学校	3年	金ヶ江 明 加
	小 倉	徳力小学校	6年	平 田 いづみ
	戸 畑	中原小学校	6年	安 田 依 陽
	若 松	江川小学校	6年	内 田 絢 日
	八 幡	上津役小学校	6年	山 口 美 咲
	遠賀中間	遠賀南中学校	2年	縄 手 枝美里



審査会にて（杉原会長、平瀬専務、久保先生）

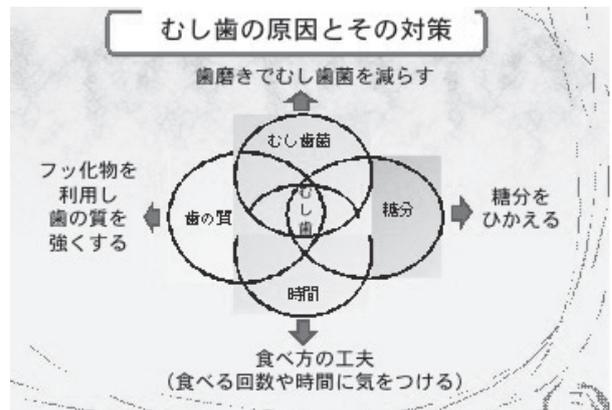
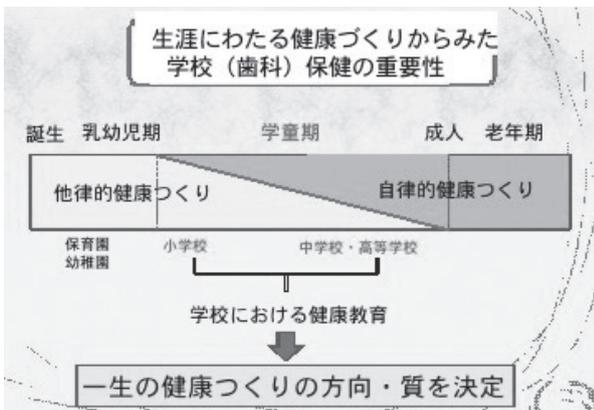
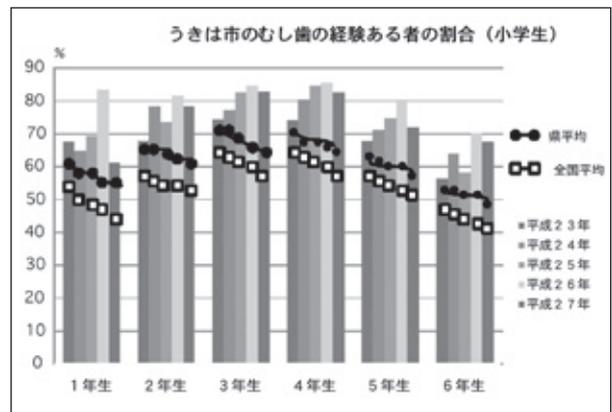
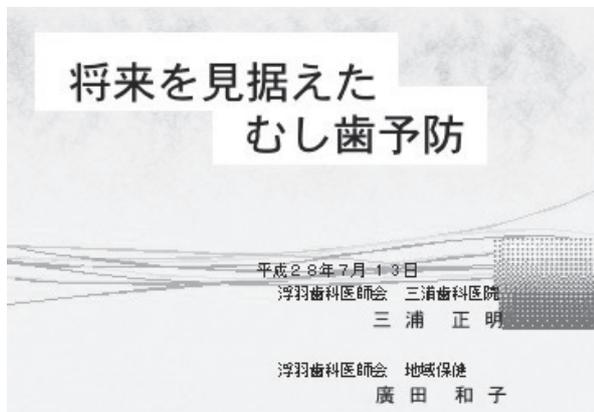
うきは市学校保健会総会での歯科保健活動

〈浮羽〉 廣 田 恭 彦

平成28年7月13日に行われた平成28年度うきは市学校保健大会にて、うきは市の歯科健診結果とむし歯予防の重要性について理解を深めてもらうため、浮羽歯科医師会から三浦正明先生、廣田和子先生の2名により「将来を見据えたむし歯予防」のタイトルで講演を行いました。大会出席の医師会、薬剤師会、養護教諭等の学校関係者の先生方に、うきは市の小・中学校の「むし歯の経験ある者の割合」がどの学年においても県平均、全国平均を上回っている現況を示したうえで、生涯にわたる健康づくりからみた、う蝕予防をはじめとした学校歯科保健の重要性についての1時間近くの話でした。

小・中学校における健康教育が生涯にわた

る健康づくりの方向・質に大きく影響することを踏まえ、歯科では炭酸飲料に含まれる糖質をはじめとする食習慣やブラッシングの回数、清掃方法の難しさなど学童期の口腔内環境に影響する要因、むし歯の原因とその予防対策、唾液の働き、フッ化物の効果と利用方法等について詳しく説明しました。特にフッ化物の利用方法については、歯面塗布、洗口、フロリデーション、歯磨剤それぞれの長所・短所を含め具体的な使用方法、効果について解説を行い、最後に福岡県が推進している学童期むし歯予防推進事業の内容にも触れて締めくくりました。講演後は活発な質疑応答もあり、有意義な講演となりました。



平成28年度 歯・口の健康に関する図画・ポスター展表彰式

〈大川三瀨〉田 中 勝 馬

雨二モ負ケズ…大入り

本年も啓発事業として歯・口の健康に関する図画・ポスター展を6月4日（土）に開催いたしました。地域保健担当理事・委員長はじめ地域保健委員会が中心となり、数ヵ月前から作品の募集、協賛依頼、行政機関との連絡等、その準備に取り組んできました。

5月14日（土）午後3時から大川市文化センターで、池末満画伯の審査のもと、大川市・大木町・久留米市城島町・三瀨町から寄せられた応募作品全3,000点以上の中から、校内審査をへて送られてきた優秀作の中より、各学年で特別賞、1等賞、2等賞、3等賞、入選佳作（10作品）の14点、合計で84点を厳選しました。例年以上に力作ぞろいでしたので池末画伯も審査に困っておられました。その後は、名簿作り、賞状作り、作品展示、賞品作り等をへて授賞式を迎えました。

6月4日（土）式典当日は午後2時から

会場作りからはじめました。堤会長自ら先頭に立って椅子、机の配置、受賞者の受付、表彰の準備を進めました。午後3時からは池末画伯による個人講評を受け、会場では本人ご家族にその絵のどこが良かったのかをお話していただきました。式典は午後4時から始まり、強い雨の中ではありますが、本年度も多くの来賓の方々、受賞者、そのご家族にご出席いただきました。例年通り1年生から6年生の特別賞作品を会場内でプロジェクターで大きく投影したのを見ながら、池末画伯より講評をしていただきました。その後、児童たちに賞状ならびに賞品の授与を行いました。委員の先生たちも年々式典運営に馴れてきて、スムーズに式典を終えることができました。これからもこの事業を通じて少しでも子供たち、親御さんたちに口腔衛生の大切さを認識していただけるような機会となるようにしたいものです。



「歯・口の健康に関する図画・ポスターコンクール」と「よい歯の学童表彰」

〈小郡三井〉井上剛臣

当会では学校歯科保健に関する普及啓発、また児童・生徒の歯科保健の向上を目的として、「歯・口の健康に関する図画・ポスターコンクール」と「よい歯の学童表彰」を行った。

「歯・口の健康に関する図画・ポスターコンクール」は5月20日（金）午後7時30分から小郡市総合保健福祉センター「あすてらす」で審査会を行い、小郡市と大刀洗町の小学校から寄せられた3年生は図画、6年生はポスター形式の作品の中から、入賞作品（特選2名、歯科医師会長賞8名、審査委員長賞12名、優秀賞12名、入選60名、佳作90名）が選出された。

今年で4回目の審査委員長となる一ノ宮画伯は、「毎年審査していますが、今回も迷いました。落選となった中にも優秀なものがあるのですが、どんどん絞り込んでいくうちに最終的により良い作品が残りました」と話され、「大胆で色合いも綺麗であり表情も良かった」と評された3年生の作品と、「丁寧に歯の形が描かれ、色彩豊かにバランス良

く表現されていた」と評された6年生の作品2点を特選に選び、この2作品を優秀作品として県学校歯科医会へ出展する事となった。

なお今回の入賞作品は例年通り、5月28日（土）から6月11日（土）まで小郡市文化会館（小郡地区作品）と大刀洗ドリームセンター（大刀洗地区作品）の2カ所で展示され、我が子が描いた絵を観に来られた家族連れ、また、たまたま通りかかった方々も含めて、来場された地域住民の皆さんに、我々歯科医が一般の方に最も伝えたい「健康な歯がいかに大切か」ということも、この展示会を通して認識して頂けたのではないかと思います。

また「よい歯の学童表彰」として小郡三井地区の学校医による歯科健診の結果、口腔内の健康状態のよい児童を地区の小学校から計6名選出し、当会より表彰状並びに記念品の授与が行われた。

このような啓発事業を通じて、学校歯科保健や地域の口腔健康意識の向上に繋がっていく事が出来れば、大変有意義であると思う。



「大刀洗ドリームセンター」での展示



審査中の画家一ノ宮佳邦先生

学校歯科保健ニュースレター

〈大牟田〉高村 聖一

大牟田歯科医師会学校保健委員会では、9年ほど前から学校歯科保健ニュースレターを作成しています。第1回発行当時の担当理事は中尾元紀先生で、井上浩委員長、平野尚史副委員長の熱意により情報発信が始まりました。このニュースレターは、学校歯科医のみならず、大牟田歯科医師会会員に共通の認識を持てるようにとの考えから発行するに至ったわけですが、現在では小学校中学校への年2回の発信を含め年4回の発信をしています。(写真1)

学校への情報発信は特に気を配る必要があります。子供たちにも出来るだけわかりやすく、保護者の方も読んで役に立つ情報である必要があります。また学校の先生方との情報の共有も目指したものでありたいと思うと、言葉のひとつひとつも吟味して選ぶようになってきました。

学校歯科保健ニュースレター第25号では、『プラーク（歯垢）って何だろう！』というテーマとお口の体操である『あいうべ体操』を取り上げました。歯の健康教室の時期と重なっていたため、子供たちにプラークのことを意識してもらいたかったことと、昨年度末に開催されました大牟田市学校保健会歯科部会の折に、あ

いうべ体操をもう少しかわいい絵で紹介してほしいという養護教諭の要望もあり、このような選択となりました。(写真2、3)

学校へのニュースレター発信は、よい取り組みではないかと思っている一方、課題もあります。小学校中学校にニュースレターを1部ずつ配布しておりますが、学校によって対応は様々です。ある学校では印刷して全校児童生徒に配布して下さったり、また別の学校では保健室などに掲示するのみだったり、他の学校では、届いているはずなのに先生方もニュースレターの存在をご存知なかったりなどいろいろあります。私の担当させて頂いている小学校では、おかげさまで養護教諭と親しくさせて頂いており、「ニュースレターを全校児童に配布して下さい」と電話でお願いして快く対応して下さいていますが、学校歯科医からののはたらきかけがなければ、なかなか配布も難しいこともわかりました。だからこそ、みなさんにもっと活用してもらえるように、ニュースレターの内容をさらに充実したものにしなければと気を引き締めているところです。

お役に立てるように、がんばります！



(写真1)
これまでのニュースレター



(写真2)
ニュースレターVOL25表



(写真3)
ニュースレターVOL25裏

就学時の健康診断

〈遠賀中間〉原野啓二

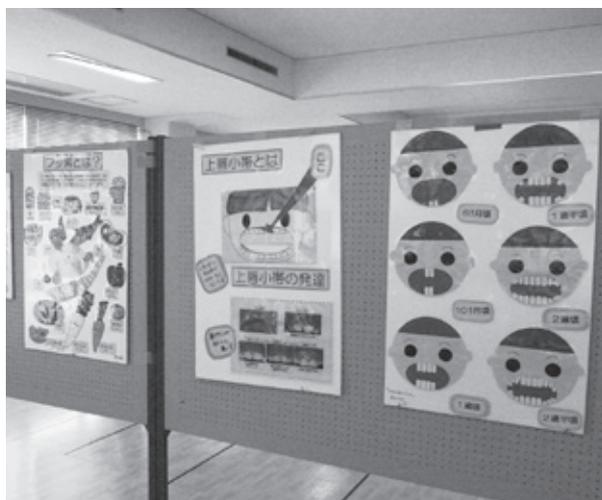
遠賀中間歯科医師会の学校歯科保健は、学校歯科委員会が担当して活動しています。学校歯科医への各種情報提供はもちろん、会内のかかりつけ医の先生へ健康診断の留意点をお知らせすることも重要な仕事です。健康診断はスクリーニングであり、C OやG Oについても、会内全員が同じ認識で治療や指導に当るようにしていかなくてはなりません。

学校歯科医にとって、児童生徒の健康診断はもっとも重要な仕事ですが、小学校学校医の先生は、春の健康診断が終わって事後処置もほぼ終わったこの頃、来春小学校に入学予定の子供たちの健康診断があります。診断の結果、問題のある子供たちには、歯科医院を受診し、来春入学するまでに治療や指導を受けるようにお話ししないとイケません。

今年も10月から11月にかけて、各市町で就学時健康診断が行われました。遠賀中間歯科医師会には、1市4町の行政区域がありますが、各行政から要請を受け、各市町ご

とに学校歯科医が健診を行います。中間市でも10月中に2回、各校区の対象者を集めて健診を行いました。保健センターに午後1時集合。耳鼻科、歯科、内科、眼科の4科を回ります。保護者に連れられ、幼児がやって来ます。歯科は3人の先生で分担していますが、皆さん幼児の口の中をきちんとみるためそれぞれ工夫をします。メガネはもちろん、照明器具も個人で持ち込み対応しています。健診後は、あまり時間はありませんが、その場で保護者と少しでも話すようにしています。入学前のこのとき、保護者にお話をできるのは大変いい機会です。

今回各市町の先生方に、健康診断の人数をお尋ねしたところ、1回に1人で45人から70人ほどを診ています。地域で大分差があるようです。児童数は減少傾向にありますので、限られた時間ではありますが、少しでも保護者と話ができる時間がとれればと思います。学校歯科医の先生、皆様お疲れ様でした。



粕屋歯科医師会 学校歯科委員会 活動報告

〈粕屋〉伊 山 慎 二

粕屋歯科医師会においては学校歯科医会としての独立した組織は持っておらず、学校歯科に関する活動は委員会活動の一環として行っております。昨年より粕屋歯科医師会の管轄内の公立小中高および園の校医園医の行政からの任命については、一昨年に当会総会にて議決された定款施行規則にしたがい、会長からの推薦に基づいて行われるようお願いしております。今期より一部の小学校で開始されたフッ化物洗口事業ですが、今後次々と実施する学校が増えることが予想され、これまで以上に学校歯科医の活躍が期待されるところです。

さて本稿の執筆は11月上旬で今期の活動も半分終わり、「いいな。いい歯週間」の啓発活動が始まる頃ですが、今期の活動をまとめてみたいと思います。

4月にまず校医研修会を開催し、健診時の注意事項の確認など毎年の行事として行いました。当会の総会員数113名中の77名が94校の校医として学校保健活動に協力している中で（平成28年10月現在）、現状をなるべく正しく把握して会員の活動にフィードバックしていくことを大切に考えています。特に、健診時に新たに加わったCO要相談の項目の説明に加え、粕屋地区においては学校で使用されて

いる「児童生徒健康診断表（歯・口腔）」および、「歯科健診の結果のお知らせ」の用紙の様式についても、一昨年より養護部会との話し合いを重ねた結果、いよいよ変更となりました。説明する内容は盛りだくさんとなりました。当会では情報共有のための校医研修会への出席は学校歯科医の義務として位置付けております。

7月中旬には福岡県歯科医師会館5F中ホールにて恒例の「むし歯予防図画・ポスター審査会」を行いました。今回審査した中から県学歯の会長賞をいただく作品が一点あり、たいへんうれしいことでした。

9月頃より当会が管轄する古賀市の1校と須恵町の3校にてフッ化物洗口が開始されました。さらに何校かが話を進めており今後も粕屋地区内での洗口実施は広がりを見せるものと思われま

す。今後の予定としては、11月の行事として、デンタルフェアをサンコスモ古賀にて、「いいな。いい歯の街頭啓発」を、サンリブ古賀とトリアス久山で行います。そして例年通り「養護教諭との合同研修会」を開き、学校現場と連携をとりやすい環境を整え、来期の活動へつなげていきたいと考えております。



ポスター審査



校医研修会 講師 学校歯科委員会 委員長 渡辺先生

学校歯科医会について

〈久留米〉古賀浩明

例年、久留米学校歯科医会は5月の総会後の懇親会には久留米市教育委員会の皆様と、歯みがき指導においてお世話をおかけしている歯科衛生士会の代表の方々に参加して頂くようにしています。

懇親会の場合であればこそ、あまり畏まらずに会としての行政に対する要望などをお話することも出来ますし、歯みがき指導の現場の状況や要望を直に聞くことなど率直な意見交換の場となっていると思います。

前年度より市の委託事業となりました市内全ての小学校2年生を対象とした歯みがき指導は6～7月の期間に行っており、まだ2年目ではありませんが、特に大きな課題もなく順調にすべり出したところです。

高学年（5～6年生）に対する歯みがき指導は希望される学校に対してのみ11月に実施しています。

今年も5月末に市内最大の商業施設の一角をお借りして「歯の健康フェスタ」を開催致しました。歯科医師会、衛生士会は言うに及ばず衛生士専門学校生徒さんまで動員しての一大イベントであります。

ポスター展の入賞者の表彰、入賞作品の展示、無料検診や相談などがメインとなりますが、大勢

の人が準備段階より参加して行われるものですから、出来るだけたくさんの方に来場して頂きたいのは当然ですし、実際に毎年多くの方々に来場して頂いております。

素晴らしい開催場所を提供して頂くようになって今年で7度目のフェスタを開催したわけですが、一般の方々の「お口の健康」に対する意識も高くなり、それに関する情報も簡単に入手できる時代になりました。

開催することが目的化した通り一遍倒の催しになってはいないかを考え、さらに予防の意識を高めることが出来る企画などを模索していく必要があると思います。



第39回 田川地区学校歯科保健研修会 及び、平成28年度「いいな、いい歯。」週間啓発事業 〈田川〉 菅 義 浩

平成28年10月12日（水）田川口腔衛生センターにて田川地区学校歯科保健研修会が開催されました。

田川地区においても近年、学童期における不正咬合に関心が高まっている現状を踏まえて、九州歯科大学歯学部 顎口腔機能矯正分野 教授 川元龍夫先生をお招きして「歯並びについて知ろう～いつ始めるの、どう直すの～」と題して特別講演して頂きました。

不正咬合においては摂食、咀嚼、発音等の口腔機能障害や審美性からの心理的障害の改善希望は多く聞かれますが、矯正治療の開始時期と方法、また、成長に伴う不正咬合の原因や進行具合等、一般ではなかなか理解されていないのが現状でした。

川元先生の講演は平易な表現を用いて非常に分かりやすく歯科矯正治療概要を説明して頂きました。日本人の不正咬合率は約50%、さらに約20%が矯正治療が必要であると考え、我々、歯科医師にとって学校健診はもちろん、普段の診療時においても歯列不正の診査、診断、治療または矯正専門医への紹介等、的確なアドバイスを送ることが非常に重要であると再認識しました。

また、多くの症例を供覧しながら、治療の最適時期は？治療方法の選択は？保護者への説明は？等、いくつかの質問を交えて大変、有意義な研修会となりました。

平成28年11月13日（日）福岡県立大学において、「いいな、いい歯。」週間啓発事業として「歯・口の健康に関する図画・ポスター」なら

びに「歯・口の健康啓発標語」表彰式が開催されました。

今年もたくさんの応募を頂き、選考に困惑するほどの秀作ぞろいでしたが、受賞者の皆さんがポスターや標語の前で嬉しそうに家族で写真を撮る光景は微笑ましいものでした。表彰式では、出席者全員が杉原会長より1人1人賞状授与されましたが、受賞した子供たちの緊張した、それでいてはにかんだ表情が印象的でした。最後に杉原会長、来賓の先生方と共に全員での記念撮影となりました。

表彰式終了後には表彰式、歯科健診等でお手伝い頂いた福岡県立大学看護学科の学生さんを招いて、黒石先生より「学校歯科保健概要」の講義、及び相互実習としてお互いの口腔内健診を行い、歯科診療や学校歯科への取り組みに触れて頂きました。短い時間ではありましたが、真剣に聴講し真面目に実習に取り組んでいる姿が印象的でした。

また、例年通り、会場受付にて無料歯科健診を実施しました。福岡県立大学の学祭（秋興祭）中でもあり、たくさんの子供たちに交じって学生さんの姿も多く見られました。普段は怖い？先生方も、この日はニコニコ顔で歯科健診、歯科相談、子供たちへのプレゼント製作など笑いの絶えない時間となりました。

来年度以降も県立大との連携をさらに深めながら、地域に密着した「いいな、いい歯。」の取り組みが拡大して行くことを期待したいと思います。



第74回 全国小学生 歯みがき大会

「全国小学生歯みがき大会」は小学生に歯と口の健康に関する
「気づき」を与え健康意識を育むことを目的に、
毎年「歯と口の健康週間」(6月4日～10日)にあわせて開催しております。

大会では歯と口の健康について学び、
歯と口の健康を維持する方法を習得するだけでなく、
将来の自分のために望ましい
生活習慣をつけることの大切さ、この習慣を継続することが
大きな力となることの理解を図ってまいります。
在校のまま参加いただけますので
是非この機会にご検討くださいますようお願い申し上げます。



開催概要

日時	平成29年6月2日(金)開催予定
募集対象	小学校5年生 ※4年生、6年生でも参加いただけます。 ※いずれか1学年とさせていただきます。
参加費用	無料 ※使用する教材(プログラム・シナリオ・歯ブラシ等)を無償で提供します。
主催	(一社)日本学校歯科医会 / (一財)東京都学校保健会 / (公財)ライオン歯科衛生研究所 / ライオン株式会社
後援	文部科学省 / 東京都教育委員会 / (公財)日本学校保健会 / (公社)日本歯科医師会 / (公社)東京都歯科医師会 / (一社)東京都学校歯科医会 / (公社)日本歯科衛生士会 ※後援団体は、73回大会のもので
参加校募集 について	平成28年10月下旬より全国小学生歯みがき大会サイトに「第74回全国小学生歯みがき大会」に 関するご案内を掲載します。詳細は全国小学生歯みがき大会サイトでご確認ください。
URL	http://www.lion-dent-health.or.jp/ ライオン歯科衛生研究所 <input type="button" value="検索"/>
お問い合わせ先	第74回 全国小学生歯みがき大会事務局 (公益財団法人ライオン歯科衛生研究所内) 〒130-8644 東京都墨田区本所1-3-7 Mail: 6480@lion.co.jp / Tel: 03(3626)6490 / Fax: 03(3626)4182

表彰おめでとうございます

◎文部科学大臣表彰

日 時 平成28年10月27日（水） 平成28年度全国学校保健・安全研究大会



須ノ内 茂子
(宗 像)



永江 正廣
(大牟田)

◎第80回全国学校歯科保健研究大会記念文部科学大臣表彰

期 日 平成28年11月16日（水） 場 所 第80回全国学校歯科保健研究大会（東京都）

井手口 薫 (京 都)	高 木 武 夫 (久留米)	前 田 恒 己 (豊前築上)
原 田 一 男 (大川三潞)	宮 城 二 郎 (田 川)	児 玉 勝 克 (門 司)
佐 藤 魁 慈 (筑 紫)	守 田 邦 昭 (遠賀中間)	

◎福岡県学校保健功労者

日 時 平成28年11月22日（火） 場 所 福岡リーセントホテル 舞鶴の間

鶴 島 光 生 (京 都)	村 上 知 行 (京 都)	入 部 英 明 (京 都)
五 嶋 淑 雄 (田 川)	田 中 雄 一 (直 方)	長 谷 川 淳 (直 方)
神 谷 道 伸 (直 方)	水 摩 敏 雄 (直 方)	園 田 三千夫 (直 方)
河 野 直 博 (直 方)	荒 卷 稔 昌 (直 方)	古 賀 清 和 (宗 像)
江 藤 博 文 (宗 像)	江 頭 有 三 (筑 紫)	井 上 文 弘 (朝 倉)
臼 杵 辰 雄 (朝 倉)	松 原 成 文 (朝 倉)	三 浦 正 明 (浮 羽)
岩 佐 茂 美 (浮 羽)	須 堯 博 (浮 羽)	古 賀 聖 敏 (浮 羽)
陶 山 新 二 (久留米)	内 藤 廣 司 (八女筑後)	中 村 玲 子 (八女筑後)
中 村 哲 士 (大牟田)	力 丸 哲 美 (門 司)	山 地 正 樹 (小 倉)
岡 部 泰 三 (小 倉)	山之内 努 (八 幡)	江 藤 行 信 (八 幡)
黒 岩 健 太 郎 (八 幡)	山 崎 敬 介 (遠賀中間)	

◎平成28年度 第55回全日本学校歯科保健優良校

筑 紫 筑紫野市立吉木小学校（奨励賞）

事業報告

研究・研修事業

(1) 第15回九州地区健康教育研究大会

大会期日：平成28年8月8日（月）9：00～
場 所：福岡サンパレス
参 加 者：杉原会長・三箇副会長・須ノ内副会長・
平瀬専務理事・柳迫常務理事・原野常務理事・
一之瀬理事・松田理事・古賀理事・楠本理事・
吉川監事・坂田委員・古賀委員

大会期日：平成28年8月9日（火）9：00～
場 所：福岡県歯科医師会館 5階 大ホール
参 加 者：杉原会長・三箇副会長・平瀬専務理事・
柳迫常務理事・原野常務理事・一之瀬理事・
岡村委員・樋口委員・井上委員・畑山委員・
居川委員・入江委員・安田委員

(2) 平成28年度九州地区学校歯科医会役員連絡協議会

日 時 平成28年8月20日（土）14：00～
場 所 熊本県歯科医師会
出 席 者 杉原会長・平瀬専務理事
協議事項
(1) 平成28年度学校歯科保健関係事業計画について
(2) 各県学校歯科保健関係提出協議題について
(3) 日本学校歯科医会への要望・質問について
(4) その他

(3) 平成27・28年度 福岡県学校歯科医会 委嘱「歯と口の健康づくり推進指定校事業」研究発表会

日 時 平成28年9月30日（金）13：00～16：50
場 所 柳川市立垂見小学校
出 席 者 杉原会長・平瀬専務理事・柳迫常務理事
主 題 『自ら健口行動ができる子どもの育成』
～健康行動理論に基づく授業づくり、活動づくりを通して～

(4) 平成28年度全国学校保健・安全研究大会

日 時 平成28年10月27日（木）・28日（金）14：00～
場 所 札幌コンベンションセンター
出 席 者 杉原会長・須ノ内副会長・平瀬専務理事・
永江監事
主 題 生涯を通じて、心豊かにたくましく生きる力を育む健康教育の推進
～生涯にわたり、自ら心身の健康を育み、安全を確保できる子供の育成～

(5) 第66回全国学校歯科医協議会

日 時 平成28年10月27日（木）16：00～
場 所 京王プラザホテル札幌
出 席 者 杉原会長・平瀬専務理事
講 演 I 学校歯科保健の魅力～これからの学校歯科医～
一般社団法人 日本学校歯科医会
会 長 丸 山 進一郎
講 演 II 最近増加している小児口腔の問題点と小児歯科臨床
北海道医療大学歯学部 教 授 齊 藤 正 人

(6) 第80回全国学校歯科保健研究大会

日 時 平成28年11月16日（水）・17日（木）13：00～
場 所 文京シビックホール
出 席 者 杉原会長・三箇副会長・須ノ内副会長・
平瀬専務理事
主 題 「生きる力」をはぐくむ歯・口の健康づくりの展開を目指して
～明るい笑顔で未来をつくる学校歯科保健活動～

(7) 第21回福岡県学校歯科保健研究大会

日 時 平成28年11月5日（土）13：00～17：00
場 所 福岡県歯科医師会館 5階 大ホール
参 加 者 342名
主 題 『歯・口の健康づくりの総合的展開を目指して』
～生涯を通じて自らの健康保持増進を目指す健康教育～
実践活動報告①
「自ら健口行動ができる子どもの育成」
～健康行動理論に基づく授業づくり、活動づくりを通して～
柳川市立垂見小学校 主幹教諭 森 山 秀 一
養護教諭 吉 山 祐 子
実践活動報告②
規則正しい生活習慣や病気を予防する習慣を身に付け、自ら健康管理ができる子どもの育成
～本校学校保健安全委員会と児童委員会活動の取り組み～
那珂川町立片縄小学校 保健主事 杉 野 菜穂子
養護教諭 平 山 裕 子
児童委員会
基調講演
「併設病院とともにすすめる口腔ケア」
長野県諏訪市立四賀小学校 養護教諭 伊 東 初 枝
特別講演
「学校歯科健診に必要な知識と対応」
松本歯科大学障害者歯科学講座 教 授 小笠原 正

会務報告

各種会議・会員現況報告

7月2日	第3回学術委員会	24日	第5回理事会
2日	第3回普及指導委員会	10月8日	第5回常務理事会
2日	第1回広報委員会	15日	第6回理事会
9日	第3回常務理事会	22日	第4回学術委員会
16日	第4回普及指導委員会	29日	第2回制度調査委員会
16日	第2回広報委員会	11月12日	第3回制度調査委員会
30日	第4回理事会	19日	第6回常務理事会
9月3日	第3回広報委員会	19日	第2回広報小委員会
10日	図画ポスター審査会	26日	第7回理事会
10日	第4回常務理事会	26日	加盟団体長会

会員現況報告（平成28年11月1日現在）

加盟団体名	会員数	加盟団体名	会員数
京 都	55名	久 留 米	56名
豊 前 築 上	26	八 女 筑 後	55
田 川	41	大 川 三 藩	24
直 方	39	柳 川 山 門	38
飯 塚	65	大 牟 田	44
宗 像	57	門 司	31
粕 屋	28	小 倉	84
糸 島	8	戸 畑	5
筑 紫	84	若 松	5
朝 倉	27	八 幡	82
小 郡 三 井	25	遠 賀 中 間	378
浮 羽	19	合 計	936

東地区226名、西地区177名、南地区288名、北地区245名

◎公 告

○平成28年度 臨時総会 (第105回)

日 時 平成29年3月18日(土)午後3時00分

場 所 福岡県歯科医師会館 5階 大ホール

◎予 告

●基礎研修会

日 時 平成29年2月25日(土)午後2時50分～

場 所 福岡県歯科医師会館 5階 視聴覚教室

福岡県学校歯科医会 ホームページ

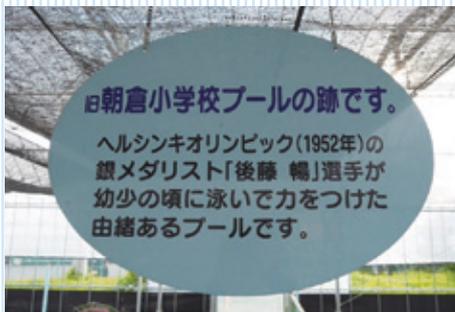
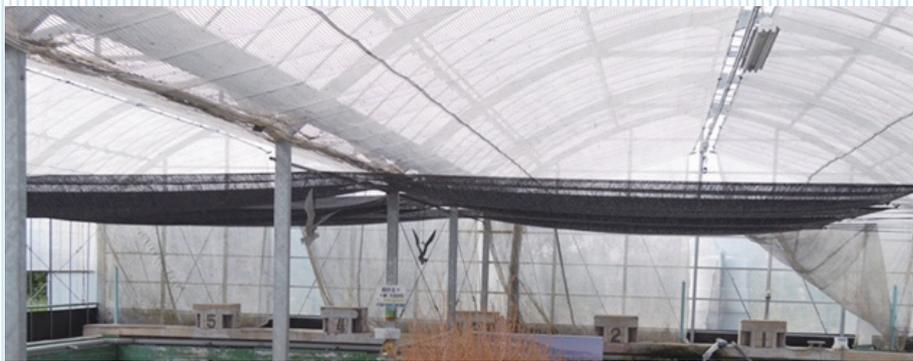
<http://www.fk-gakusi.jp>



編 集 後 記

小学2年生の次女が学校で、その地区の歯科医師会主催の「平成二十八年度における歯の衛生に関するポスター」コンクールに応募して佳作に入選しました。小学校の所在する郡市区と、自分の所属する郡市区の歯科医師会が異なるので八百長ではないのですが、嬉しそうに僕に賞状と賞品のオーラルケアグッズを見せてくれました。特にはじめて見るフロスには「これ、どーやって使うの?」と興味津々で、気が付けば長女や妻も珍しく鏡の前で二人で並んで、それを使ってフロッシングをしていました。普段、自分の所属する郡市区の歯科医師会でも同種の事業を毎年、事務的に仕付けていましたが、やっぱり自分(の娘)が貰うと嬉しいものですね。受賞者一人一人それぞれに家族の団欒やドラマがあるかと思うととても大切な事業だと改めて気付かされました。今後も愛を込めて未来ある子供たちのために、学校保健に関する事業を行っていきたくと思います。

広報委員会委員 入江 祐彰



旧朝倉小学校プール跡

県学歯会報

第 90 号

毎年2回発行

発行人 杉原 瑛治

発行所 〒810-0041 福岡市中央区大名1丁目12-43
一般社団法人 福岡県学校歯科医会
TEL 092-714-4627 FAX 092-714-7599
E-mail k-gakusi@alpha.ocn.ne.jp
U R L <http://www.fk-gakusi.jp>

印刷所 〒812-0065 福岡市東区二又瀬新町12-29
(株)大里印刷センター

TEL 092-611-3118 FAX 092-629-2715